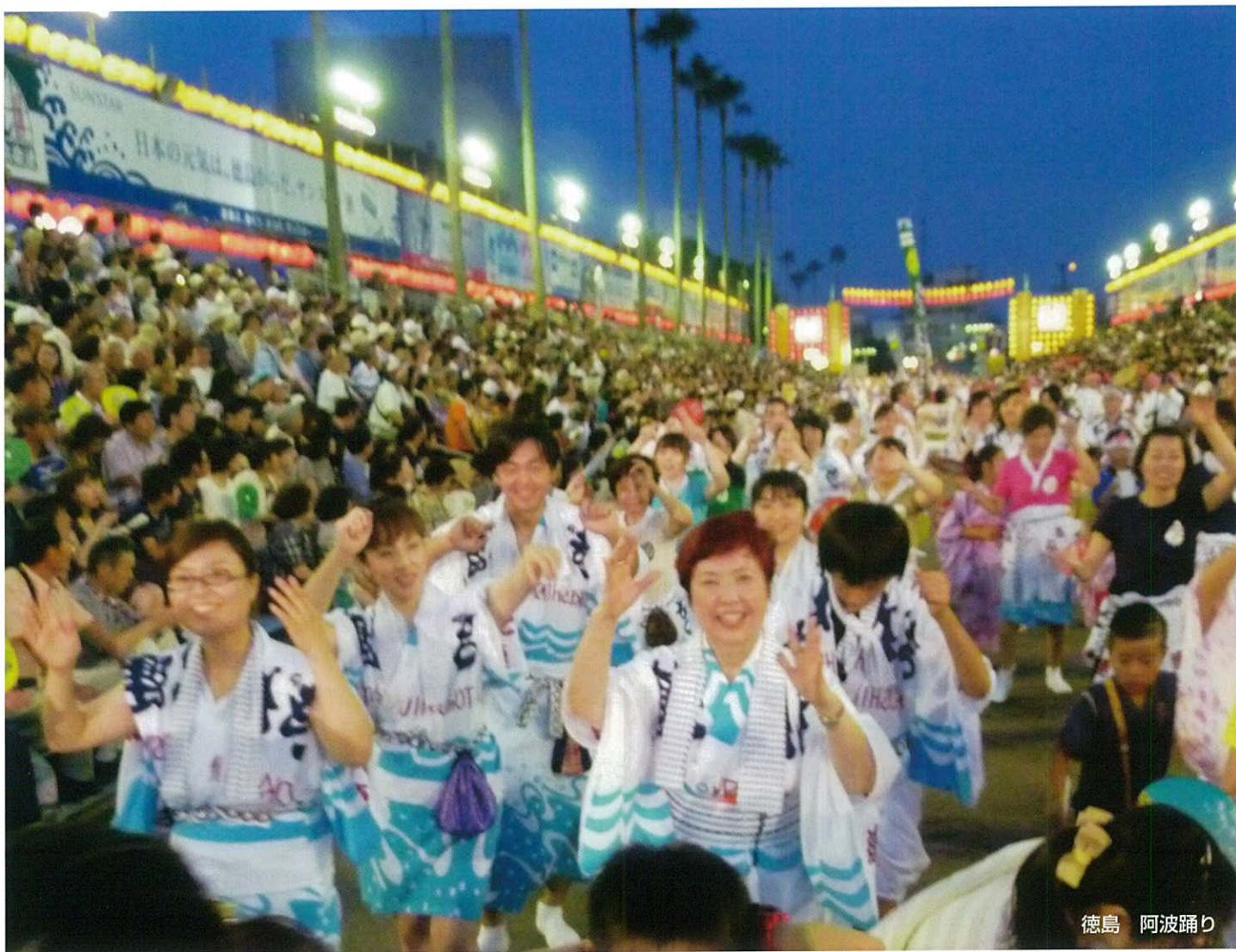


セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

# ルカ新聞

 No.29  
2014.12.


徳島 阿波踊り

 柘ぎ  
榴くろ

わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞き、それを行う人は、地面を深く掘り、しっかりとした岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、揺り動かされなかった。しかし、わたしの言葉を聞いても行わない者は、土台なしで地面に家を建てた人に似ている。川の水が押し寄せたら家はたちまち倒れ、流された。

ルカによる福音書6章47節―49節

なんとわかりやすいたとえでしょう。イエス様は多くの場面でたとえを用いて説いています。しかしこのたとえはわたしたちの生きてゆく上で最も重要な点を表しています。

わたしたちは、この仕事の重要な点は何か、その場においては何がもっとも大切か、そして目標は何かなどと、多くの場面で考えねばなりません。そして、ここにいわれているようなことを考えるとき、それらの基礎、基本となる点が最も重要で、それがその後の経過に影響を与えます。

わたしたちの仕事においては、「不妊治療は夫婦の愛があって初めて始まる」「生殖医療は生まれてくる子どものためにある」これらは最も重要な基礎だと思えます。そして生殖医療を行うものも、また受けるものも同じ基礎に立っているはずで、さらに、行う医療は徹底的に吟味された科学であらねばならず、そのために毎日のルーチン・ワークに加え、それを完成させる調査、研究が欠かせません。いまや、一人の全ゲノムが一週間、千ドルで解析される時代になりました。それでもこの基礎は揺るがめ位置を占めています。

ちなみにこの「岩の上に」は、前病院の定礎の言葉に選びました。





## 巻 頭 言

院長 宇津宮 隆史

また1年が過ぎ去ろうとしています。2014年はなんとなく落ち着いた年のようでした。昨年は別府ビーコンプラザでの第31回日本受精着床学会総会・学術講演会の開催、その2年前は新病院の移転、更にその2年前からは新病院の構想などと2年ごとに大きな働きかけがあり、それぞれがそれぞれにおいて振り乱して駆け回ったような思いです。

今年はそういう意味で思い返してみると、あまり派手な動きはなかったようですが、大きな話題として、当院から大学院を卒業して、めでたく博士号を得た3人がいます。山形大学大学院（指導：阿部宏之先生）を熊迫陽子が、また東北大学大学院（指導：有馬隆博先生）を佐藤晶子が、そして広島大学大学院（指導：島田昌之先生）を佐藤千賀子がそれぞれ各大学で本当に立派な指導者に恵まれ、卒業し、学位を授与されました。さらに今年は大分大学大学院に後藤香里が、また手島しおりが日本看護協会不妊看護専門コース（聖路加国際病院）に入学しました。すでにラボ・ディレクターの大津英子は数年前に大分大学大学院で同様に博士号を授与されており、このようにみますと、家庭があり子どももお母さんであるにもかかわらず、その向上心には頭が下がる思いですし、またそれをご理解、許容して下さったそれぞれのご家庭に敬意と感謝の念を表したいと思います。

それらの実績は後に続く後輩への本当に力のこもったエールになると思いますし、立派に先輩の責任を果たしていると思います。

今年は当院でも関心のある着床前診断（PGD）のうち、スクリーニング（PGS）が日本産科婦人科学会でも臨床研究として計画され、わたしもその委員として参加しています。

今まではFISH法で検査していたために診断範囲に限界があったのですが、aCGH法を用いてその欠点を克服することができることにより、PGSの有効性が期待されています。これがうまくいけば確実に流産の少ない妊娠が得られるようになるでしょう。高齢患者さんには朗報といえます。しかしこの技術がさらに進めばこの胚から生まれる子どもはどのような性格でどのような知能で、どのような特技を持ち…などと胚移植前にわかってしまう時代がすぐそこに来ています。これらについても今からその内容を知って考えておかねばなりません。

今年から新しく取り組んでいることに「卵管鏡手術」があります。卵管は非常に繊細な機能を持ち、それが感染などで影響を受ければ、復活は不可能とされていました。しかしこの卵管鏡は、直径0.5mmというごく細いファイバーカメラを使うことにより、卵管異常が理由で体外受精を考えねばならない人にとって、体外受精の前に試みるべき方法ということで、いくつかの報告が出ています。その結果、妊娠率20-30%という成績とのことで、一定の役割を果たしているようです。



当院ではその特徴、特技である卵管内部を広げるというだけでなく、さらに卵管や卵巣、骨盤腔内の状態を整えるために腹腔鏡検査と子宮鏡検査を同時に行い、まず腹腔内の子宮内膜症や癒着を治療し、さらに子宮鏡で卵管鏡が卵管に進入していくところを確かめながらこの手術を行うことを計画し、数例に行ってきました。その結果、この3方法を組み合わせることにより、おそらくほとんどすべての骨盤腔内の病変の治療が可能となり、これで妊娠できなければ体外受精もやむを得ないという究極のところまで治療できると確信できました。今後は積極的に卵管機能を検査し、卵管鏡手術を行うべき患者さんを見つけていきたいと思います。

新しい方法を臨床応用することは本当に心の躍ることです。「この新しい方法で妊娠に成功するかもしれない」という期待は、生殖医療においてはいくつかのステップがありました。その一つにこの卵管鏡手術もなり得ると思います。

各学会においては、別項にあるように、当院の発表に対して優秀賞をいただきました。これからますます頑張ろうというエネルギーになり、ありがたいことです。今年も6月にはミュンヘンでのESHRE、10月にはハワイでのASRMに参加してきました。特にハワイでは当院の佐藤晶子の演題が上位12%に選ばれ、口頭発表を行いました。

わたしは手術に興味があるのですが、ESHREでもASRMでも、日本の方が格段に上であると確信しました。世界をリードしている日本の生殖医療といえます。

今年是不妊症治療を行っていくうち、また、別府平和園の子どもたちのことを考えているうちに、やはり「性教育」は必要なことで、これもわたしたちが行わなければならないことと思いました。そこで、熊本の池田稔先生、京都大学の木原雅子先生に来ていただいて、まず午前中は平和園で子どもたちと保育士への講演、そして午後はコンパルホールで「大分性教育セミナー」を開催しました。

さらにがん患者さんの妊孕性維持のサポートとして、昨年に続き、第2回大分がん・生殖医療研究会を開催しました。うえお乳腺外科の上尾裕昭先生と内閣参与で日本産科婦人科学会前理事長の吉村泰典先生の司会で、虎の門病院の成田円先生、獨協医大の岡田弘先生、九州がんセンターの大野真司先生、聖マリアンナ大学の鈴木直先生にご講演していただきました。更にこれは後日、乳がん患者さんのための生殖医療も、ということで、うえお乳腺外科の上尾裕昭先生を中心に、大分県の乳腺外科の先生方と「おおいた乳がん生殖医療ネットワーク」を立ち上げ、若い女性の将来の妊孕性を確保する試みを開始しました。

すでにわれわれは白血病未婚患者さんの未受精卵凍結保存や精巣腫瘍患者さんの精子凍結も数十例ほど行っており、乳がん患者さんでも同様なシステムが組めるものと期待しています。それにしても上尾先生のリーダーシップはすばらしいものがあり、毎回感心しております。近いうちに乳がん患者さんの原疾患が治癒して結婚し、このネットワークで凍結した卵子で赤ちゃんを授かる日も遠くはないと思います。

われわれのできることはすべて社会に役立てなければなりません。そして少し工夫すれば、先に述べたようにまったく思いつかなかった人たちにも大きな幸せを提供できる場合もあることをかんがみ、次のステップを踏んでいきたいと思っています。

さて、わたしの関係している児童養護施設別府平和園に対して、皆様方からの多大なご援助をいただきまして本当に感謝しております。平和園は大分県では養護施設として高い評価を受けているといっても良いと思います。しかし仕事が困難になればなるほど、迷い、苦悩、心労が避けられないことはどこも同じです。そのときに平和園には先人の培った理念「この小さきものに」があります。聖書に記されているイエス様の「この小さき者にしたことはわたしにしてくれたのと同じことである。」という言葉です。この言葉に勇気付けられ、保育士たちは毎日頑張っています。どうぞ皆様も温かく見守ってくださることをお願い致します。





# 研究室だより



## 第32回日本受精着床学会 世界体外受精会議記念賞を受賞しました

『タイムラプス(Primo Vision)観察と胚呼吸量測定を用いた初期胚品質評価の可能性』

ラボ部門 後藤香里

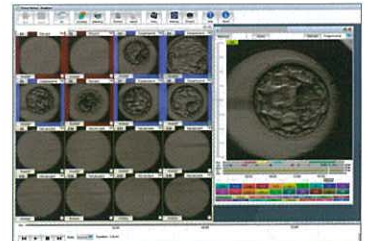


写真左から  
セントマザー産婦人科医院  
院長・田中 温先生、  
京都大学名誉教授・森 崇英先生、  
胚培養士・後藤 香里、院長・宇津宮 隆史

胚への体外培養の影響を最小限にするため、発育の観察は1日1回のみとなっています。従来はその時の発育状態により移植胚を決定しています。今回の検討では、胚を培養庫から出さずに観察ができるタイムラプス装置を用い、胚の動的解析結果と移植前の胚呼吸量値から、妊娠の可能性が高い胚を早い時期に見分けることができるといふ結果を得ました。



〈タイムラプス装置〉  
培養庫内に入れて使用します。



〈呼吸量測定装置〉



## 第55回日本卵子学会学術奨励賞を受賞しました

『分割期胚における多核胚発生原因の分析』

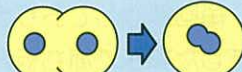
ラボ部門 大津英子



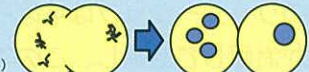
兵庫医科大学教授・柴原浩章先生  
胚培養士・大津英子

通常、1個の細胞には1個の核が存在します。しかし体外受精の分割期胚において約10%の胚に多核が認められます。多核胚は、妊娠率は低いものの正常出産に至る場合もあります。今回の検討で多核胚の発生率と採卵時の女性年齢とは関連がないことが分かりました。染色体解析の結果、多核胚の染色体異常率は60%程度と単核胚と変わりませんでした。結果として、図のように細胞分裂の失敗や、核が一つにまとまらず核膜が複数形成された結果などが考えられました。

パターン①  
細胞分裂の失敗  
(染色体異常になる)



パターン②  
核膜が複数形成  
(染色体数的には異常なし)



## 第30回ヨーロッパ生殖医学会(ESHRE2014)参加報告



ESHRE会場にて

2014年6月30日～7月2日、ドイツ ミュンヘンで開催されたヨーロッパ生殖医学会(ESHRE)に、ラボ1名、情報処理室1名が参加させていただきました。残念ながら、今回は当院からの発表は叶いませんでしたが、たくさんの刺激を受けました。日本の技術は世界的に見てもハイレベルですが、やはり英語力が今後の課題だと感じました。

企業展示のブースでは、新技術や機械の紹介、最近では精子や卵子のドナーを斡旋する仲介業者も多く見られるようになりました。院長先生がいつもおっしゃるように、私たちと同じ次元の人間が生まれてくるということ、子どもの将来や幸せに対して責任があるということを変えて考える機会になりました。

(情報処理室 山路)





# 看護部だより



## 当院治療中患者の特定不妊治療助成制度に対する意識調査

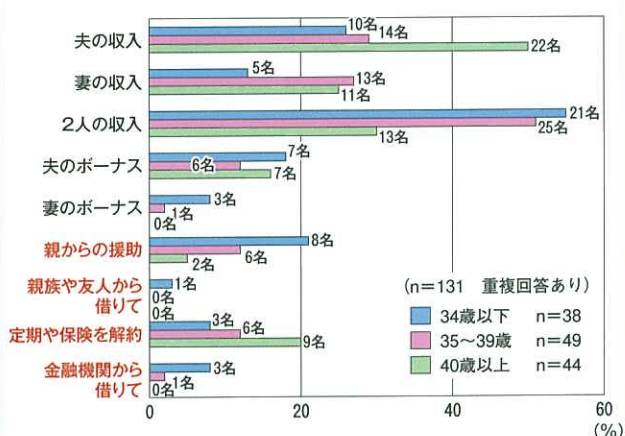
看護部 関 こそえ

2016年度より、不妊治療助成金の交付が43歳未満に制限されます。

今回、当院治療中患者さんの特定不妊治療助成制度に対する意識調査を行いました。

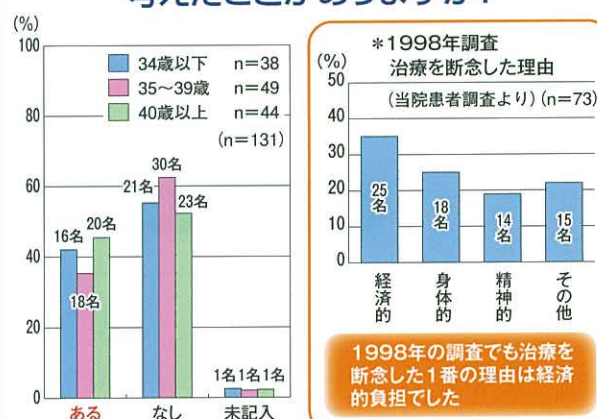
アンケートのご協力ありがとうございました。

### 治療費はどこから捻出していますか？



親からの援助や、親戚又は友人から借りて治療に望んでいたため助成金補助の大切さを改めて感じました。

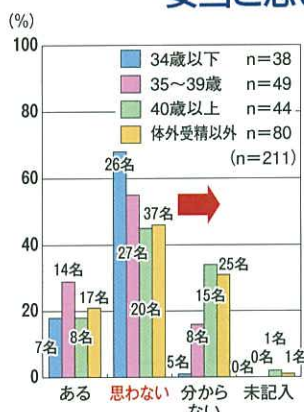
### 経済的な理由で治療断念を考えたことがありますか？



#### 患者さんの意見より

治療の一部でも保険適用になると助成金が出なくても治療が出来るかもしれないとの意見が聞かれました。

### 現在の助成期間(5年間)は妥当と思いますか？



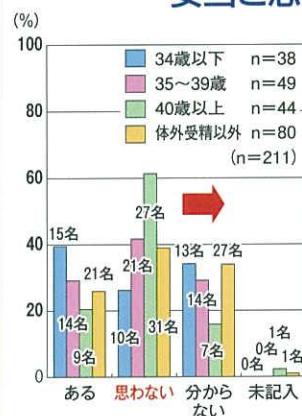
#### 「思わない」と答えた患者の意見

- 少子化の問題、晩婚化の問題の原点がどこなのかを見直して欲しい。今回の改正には憤りを感じます。
- 40歳以上で治療を開始した場合、助成回数が少なくなるので不公平に思える。一律で区切られるのは…。

#### 患者さんの意見より

期間や年齢制限が決まってしまうと治療が出来ない。制限なく治療を続けたいとの意見が聞かれました。

### 年齢制限の43歳未満は妥当と思いますか？



#### 「思わない」と答えた患者の意見

- 少子化の原点がどこなのか、不妊治療を受ける人が増えている中、内容も見直して欲しい。そうすれば治療中の方も、受けていない方も前向きになれるのではないかと。
- 妊娠の確率が下がるのはわかりますが、それを理解しながら不妊治療を続けている人がいることを忘れないで欲しい。
- 卵子の老化や早目の結婚、妊娠計画を考えて貰いたい。年齢制限を低く設定することは別の問題ではないかと。

#### 患者さんの意見より

自分の年齢を理解しながら治療を続けている人がいることを忘れないでほしいとの意見が聞かれました。

特定不妊治療助成制度の助成期間や年齢については個人の考えの違いはあるが受け入れができない人の方が多かった。患者さんの意見より、もっと早く不妊についての知識を持つ機会があればと思ったとの意見が聞かれました。

貴重なご意見ありがとうございました。



# 受付より



受付 越名 久美

## 不妊治療費助成金について

2013年度不妊治療費助成金を集計しましたので受付よりご報告いたします。

同時に過去5年分のまとめもご報告いたします。

申請が可能な方は、出来るだけ早めに受付まで持ってきてください。

皆様、ご協力をよろしくお願い致します。

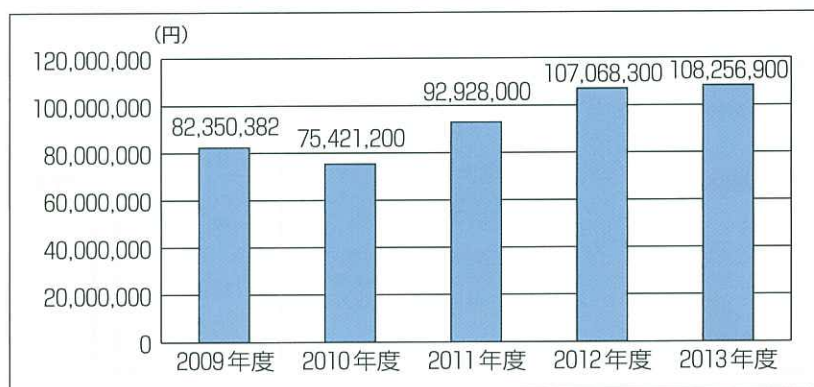
	人数(人)	申請回数	助成金額(円)
大分県	160	273	34,166,400
大分市	208	343	65,445,100
他県	4	7	975,000
県と市両方	54	64	6,938,200
大分市以外	8	8	332,200
市町村のみ	4	4	400,000
合計	438	699	108,256,900

### 過去5年分(2009年度～2013年度)の不妊治療費助成金のまとめ

#### 申請人数



#### 助成金額



### 戸籍抄本について

不妊治療されている方全員に、入籍確認のため「戸籍抄本」の提出をさせていただいております。ご提出いただけない場合は、治療を中断することがありますのでご注意ください。受付まで早めの提出をお願いします。





# 心理相談室より



心理相談室 稗田 真由美

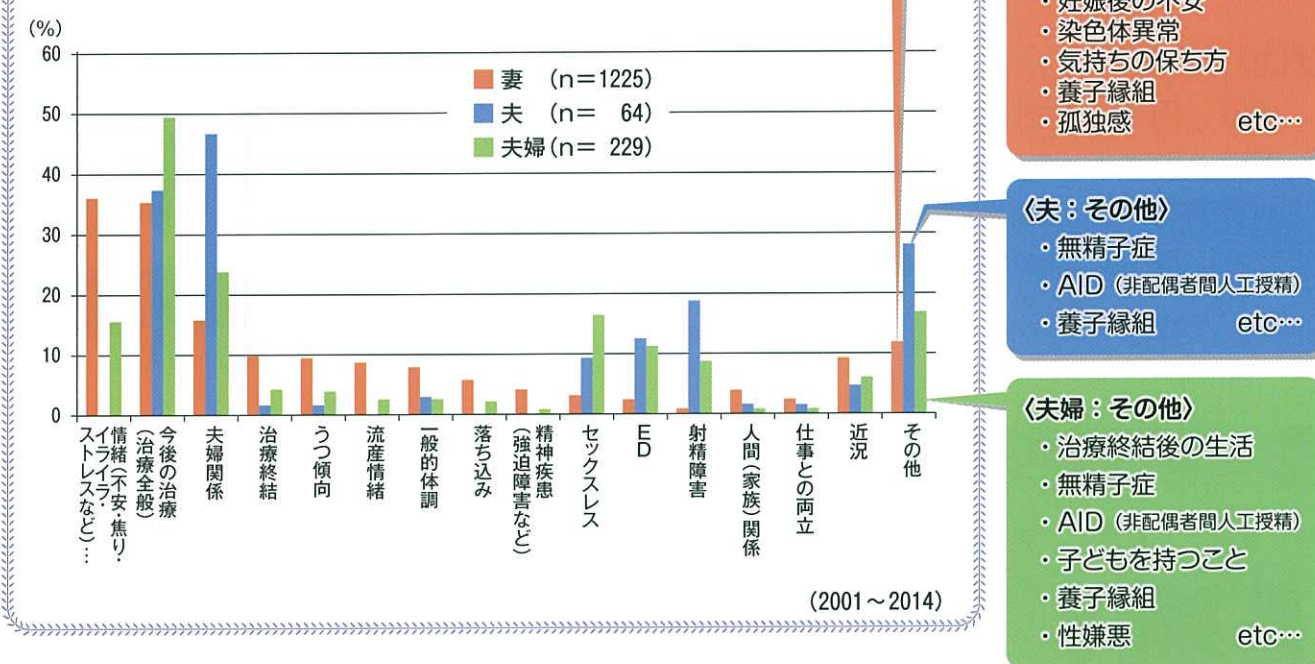
冷たい風が吹いていることも忘れるくらい、クリスマスのイルミネーションのきらめきに目を魅かれることがうれしい季節です。

皆様にとって今年はどうな一年だったでしょうか？年末に向けて忙しい時間をお過ごしかと思いますが、イルミネーションを眺めながらご夫婦、ご家族、また仲間達とフットと一息つける時間が持てるとよいですね。

さて、新患教室でもお話をさせて頂いておりますが、“どうい相談に来ているのですか？”という疑問にお答えして、2001年開室からの相談内容をまとめてみました。



## 相談内容内訳



妻は“情緒・気持ち”“今後の治療”に関する悩みが多くなっていること。夫は、“夫婦関係”“今後の治療”が多くなっています。同じ目標を持って頑張っているからこそ、相手のことをより理解したいし、してほしい。また、傍に居てほしい・居たいという気持ちが強くなり、相手への関心や要求が高まってくると考えられます。

ただし、男脳・女脳と言われているように、性差で考え方、感じ方の違いがあり、“今”どうしても埋められない気持ちがあるかもしれません。その時には、悩み、疑問、対処法など是非、今の思いを吐きだして帰って頂けたらと思います。

どのように相談室を利用したらいいのだろうかと感じている方、近況も含め気軽にお話に来てください。





# 第2回大分がん・生殖医療研究会公開講座開催

2014年7月13日(日)、ホルトホール大分にて、大分県内のがん治療施設に従事する医療従事者を対象とした公開講座を当院主催で開催しました。

## 〈座長〉

- ・上尾 裕昭 先生  
(うえお乳腺外科 院長)
- ・吉村 恭典 先生  
(日本産科婦人科学会前理事長、  
内閣官房参与)



上尾 裕昭 先生



吉村 恭典 先生

## 〈パネリスト〉

- ・成田 円 様 (虎の門病院 血液内科移植コーディネーター)
- ・岡田 弘 先生 (獨協医科大学越谷病院泌尿器科)
- ・大野 真司 先生 (国立病院機構九州がんセンター臨床研究センター)
- ・鈴木 直 先生 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)



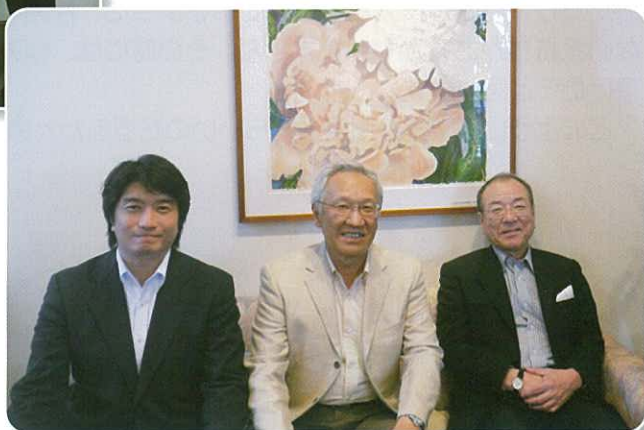
成田 円 様



▲左から 上尾先生、大野先生、岡田先生、鈴木先生、院長、吉村先生

主に大分県内の医療者向けに公開講座を行いました。治療後の妊孕性の温存をふまえたがん治療を行っている泌尿器科、婦人科、乳腺外科の先生方にお話して頂きました。また、血液内科で移植コーディネーターをしておられる方にもお越しいただき、患者さんとのやり取りの具体的な事例などをお話しいただきました。

公開講座終了後、吉村先生、鈴木先生が当院へお越しになり、院内見学をされました。





# 「おおいた乳がん生殖医療ネットワーク」 が発足しました

日本産科婦人科学会によると…

2012年には37,953人の赤ちゃんが体外受精により誕生しました。これは27人に1人が体外受精児であるということを示しています。

そして体外受精児の70%以上が、凍結受精卵（あるいは凍結卵子）による治療で生まれています。今や凍結保存技術は、日本において欠いてはならない、重要な技術となっています。

これまで、この凍結保存技術を含む生殖補助医療技術は日本産科婦人科学会の会告により**婚姻関係にあるカップル**のみに認められてきました。

平成26年4月に日本産科婦人科学会により

「医学的適応による未受精卵および卵巢組織の採取・凍結・保存に関する見解」が出されたこともあり、医学的適応のある場合、卵子凍結は容認される必要があると認識されるようになりました。

## 2014年9月『おおいた乳がん生殖医療ネットワーク』を設立

特に未婚の乳がん患者さんのために治療前の卵子あるいは受精卵の凍結保存を進めていこうという目的で発足しました。



2014年9月9日 キックオフミーティング（セント・ルカ産婦人科多目的室にて）

乳がん治療前に卵子の凍結保存ができることを「知らされていなかった」という未婚の患者さんがいないように、大分県内の全ての乳がん治療施設でこの取り組みが周知され、患者さんに適切な情報提供がなされるよう、活動していきます。



## 第二回 大分性教育セミナー

日時：2014年7月12日(土)

場所：午前の部：別府平和園 午後の部：大分コンパルホール

今回、第二回目となる性教育講座は、午前に64名の別府平和園の子どもたちやスタッフに向けて、午後は、101名の一般市民の方々や教職員の方々とともに、思春期の性のことを考え、情報を交換する事を目的とし、性教育にお二人の精通している講師の先生をお招きし開催されました。



### 「性的自律のために ～熊本県で行っている泌尿器科的視点の性教育～」

池田クリニック院長 池田 稔先生

池田先生は、学校での性教育に力をいれられており、特に男子への教育を重点的に行っています。

男性による男性の立場に立ったお話内容はとても興味深い内容でした。

#### 参加者アンケートより

- ・男の子に対する性教育のお話を聞くことができとても、参考になりましたとの意見がありました。

### 「イマドキの子どもたちの心や性の課題」 学校、家庭、地域の大人ができることはなにか？ ～WYSH教育の事例より～

京都大学大学院医学研究科社会疫学分野  
准教授 木原 雅子先生

木原先生は、青少年に対する教育の開発、性の問題・ネット依存・いじめ等人間関係の教育を全国で講演。子どもたちの生の意見を交えた講演内容は参加者からもとても好評でした。

#### 参加者アンケートより

- ・学校でも子供たちに正しい教育が行われるといいと思いました。子供たちにも聞いて欲しいと思いましたとの意見がありました。



大分大学名誉教授 宮川 勇生先生  
貞永産婦人科 貞永 明美先生



大変お忙しい中、座長の労をとって頂きましてありがとうございました。



# 2014年を振り返って

01.04	新年会(セント・ルカ多目的ホール)	05.10	第57回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者94名
01.04	新職員 藤沢奈津美(受付)		講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、稗田(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生)
01.18	第199回 体外受精教室 参加者79名 参加(足立小、下川、小池、岡田、松土、二宮、越光)	05.13	日本産科婦人科学会 第2回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長)
01.18	第3回 第9期オリープの会 参加者5名	05.15	大分産婦人科 JOY会(大分) 参加(河邊)
01.19	平成25年度大分県医師会母体保護法指定医師研修会(大分) 参加(院長)	05.17	第2回 ウェイトサークル 参加者4名
01.21	第178回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	05.17	第55回 日本卵子学会(兵庫) 参加(後藤香、大津、院長)
01.25	第55回 ガーネットサークル OG 1名、参加者5名		ランチョンセミナー2 座長:院長
01.25	第35回 日本エンドメトリオオシス学会(鹿児島) 参加(長木、越光、院長)		発表:「タイムラプス(Primo Vision)観察と胚呼吸量測定を用いた初期胚品質評価の可能性」(後藤香里)
01.28	院内全体研修: 避難訓練(担当:情報処理室)		「ヒト初期胚における多核の原因検討」(大津英子) (学術奨励賞受賞)
01.28	院内全体研修: ココロ元気にしてませんか(担当:心理専門相談室)	05.17	第13回 日本卵子学会培地開発委員会(兵庫) 参加(院長)
01.28	平成25年度大分県防火・防災管理講習(大分) 参加(越名、後藤裕)	05.17	吉村崇典先生の新たな出発を祝う会(東京) 参加(院長)
01.30	平成25年度一般社団法人日本卵子学会臨時社員総会(代議員会)(東京) 参加(院長)	05.19	新職員 下原佳由里(看護部)
02.01	A-PART 日本支部 Minimal Stimulation 研究会学術講演会2014(東京) 参加(小池、熊迫、院長) Session 3「培養関係」座長:熊迫陽子	05.20	第182回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
02.02	がんと生殖に関するシンポジウム2014 一血液がん患者さんの不妊対策を考えるー(東京) 参加(小池、熊迫、院長)	05.26	Genesis Genetic Asis 視察(台湾) 参加(佐藤、大津、院長)
02.04	第179回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	05.31	第203回 体外受精教室 参加者81名 参加(足立小、小池、下原、岡田、松土、二宮、越光、稗田)
02.07	第8回 大分女性医学フォーラム(大分) 参加(河邊、院長)	05.31	第6回 第9期オリープの会 参加者2名
02.08	第56回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者92名	06.03	ISO9001マネジメントレビュー
	講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、稗田(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生)	06.04	第13回 別府遺伝医学セミナー(別府) 参加(下川、城戸)
	参加(安部、藤沢、下川、城戸、戸高、坂本、足立直、斉高)	06.06	第2回 大分産婦人科 update(大分) 参加(河邊)
02.10	第1回 西別府病院生殖医療フォーラム(別府) 参加(大津、院長)	06.07	第6回 JISART 心理教育セミナー(北海道) 参加(稗田)
02.16	JISART 施設認定審査説明会&審査員研修(東京) 参加(越名)	06.07	第7回 JISART 受付教育セミナー(北海道) 参加(越名)
02.16	第4回 JISART 事務教育委員会(東京) 参加(越名)	06.07	第7回 JISART ラボ教育セミナー(北海道) 参加(大津)
02.22	第200回 体外受精教室 参加者64名 参加(藤沢、足立小、下川、後藤香、松土、二宮、関)	06.07	第11回 JISART 看護教育セミナー(北海道) 参加(後藤裕)
02.22	日本生殖医療心理カウンセリング学会 生殖医療相談士2013年度継続研修会(東京) 参加(城戸、手島、後藤裕)	06.07	第47回 JISART 拡大理事会(北海道) 参加(院長)
02.23	第11回 日本生殖医療心理カウンセリング学会学術集会(東京) 参加(城戸、手島、越光、後藤裕、稗田、院長)	06.08	第12回 JISART シンポジウム(北海道) 参加(越名、大津、後藤裕、稗田、院長)
	発表:「不妊症患者の非配偶者周生殖補助医療に対する意識調査」(越光直子)	06.10	セント・ルカ産婦人科職員総会 中島登山
02.28	第219回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊、院長)	06.12	大分県立看護科学大学(大分) 講義 参加(工藤、藤沢、小池、下原、下馬場) 講義:「不妊症講座」(院長)
03.01	第4回 第9期オリープの会 参加者5名	06.14	第79回 新患教室 参加者83名 参加(越名、佐藤、下原、下馬場、坂本、川村、斉高、越光、稗田)
03.01	第7回 「生殖と女性医学」講演会(東京) 参加(院長)	06.18	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」月号(Vol.23)取材
03.03	第113回 大分県周産期研究会(大分) 参加(山路、安部、油野、藤沢、青木、渡邊、越名、下川、佐藤、長木、大津、戸高、坂本、手島、北田、岡田、亀井、松元、二宮、斉高、赤嶺、関、篠田、越光、後藤裕、稗田、河邊、院長)	06.20	日本受精着床学会 平成26年度 第1回常務理事会(東京) 参加(院長)
	発表:「女性の加齢による染色体異常の実態(着床前診断の必要性)」(大津英子) 「体外受精治療中の患者を対象とした性生活と日常生活についての意識調査」(二宮睦)	06.20	第220回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊)
03.05	医療機関等における防災研修会(大分) 参加(関)	06.21	第204回 体外受精教室 参加者60名
03.08	第77回 新患教室 参加者60名 参加(藤沢、越名、熊迫、戸高、坂本、川村、足立直、後藤裕)		参加(藤沢、足立小、長木、下馬場、岡田、松土、二宮、関、稗田)
03.10	第12回 別府遺伝医学セミナー(別府) 参加(城戸、大津)	06.21	第7回 第9期オリープの会 参加者5名
03.11	第180回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	06.21	第26回 大分内視鏡外科研究会(大分) 参加(河邊)
03.11	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」月号(Vol.22)取材		発表:「子宮内胎症卵巣嚢腫エタノール固定術後の卵巣予備能の変化と腹腔内癒着の有無」(河邊史子)
03.12	日本産科婦人科学会 第1回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長)	06.23	釘宮啓大分市長を囲んでの電馬会(大分) 参加(院長)
03.15	日本卵子学会 第4回理事会(東京) 参加(院長)	06.24	第183回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
03.16	日本生殖再生医学学会第9回学術集会(大阪) 参加(後藤香、長木、院長)	06.24	第114回 大分県周産期研究会(大分)
	発表:「初期胚品質評価のためのタイムラプス(Primo Vision)観察と胚呼吸量測定について」(後藤香里) 「腹腔鏡下手術が卵巣予備能に与える影響」(長木美幸)		参加(安部、油野、藤沢、大城、足立小、下川、小池、佐藤、熊迫、大津、下馬場、戸高、坂本、手島、北田、川村、亀井、足立直、斉高、赤嶺、岡田、関、篠田、越光、後藤裕、稗田、院長)
03.18	平成26年度診療報酬改訂に伴う医師の説明会(大分) 参加(足立小、越名)	06.26	大分県不妊治療費助成事業検討部会(大分) 参加(足立小、越名、院長)
03.22	第201回 体外受精教室 参加者55名	06.27	第38回 日本遺伝カウンセリング学会(大阪) 参加(院長)
	参加(油野、藤沢、足立小、下川、大津、戸高、二宮、関、稗田)	06.28	第3回 ウェイトサークル 参加者2名
03.23	平成26年度診療報酬改正説明会(大分) 参加(足立小、越名)	06.29	30th Annual Meeting of ESHRE(Germany) 参加(山路、後藤香、事務長、院長)
03.25	第20回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会	06.29	職員旅行(鹿児島2班) 参加(油野、小池、城戸、坂本、篠田)
	倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、後藤裕子(セント・ルカ産婦人科 看護師長)、近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順)	06.29	第64回 大分産科婦人科学会 第55回大分県産婦人科医学総会・学術講演会(大分) 参加(河邊、院長)
03.26	ドライインキュベーター導入		発表:「不妊治療中の異所性妊娠」(河邊史子)
04.05	新職員 下馬場優子(看護部)	07.12	第2回 大分女性教育セミナー 第21回 セント・ルカセミナー(コンパルホール) 講師:池田稔先生(池田クリニック 院長) 「性的自律のために～熊本県で行っている泌尿器科的視点の性教育～」
04.05	第78回 新患教室 参加者78名 参加(越名、下川、城戸、戸高、足立直、斉高、篠田、稗田)		座長:宮川勇生先生(大分大学名誉教授)
04.05	第1回 ウェイトサークル 参加者3名		講師:木原雅子先生(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 准教授) 「イマドキの子どもの心や性の課題 学校、家庭、地域の大人ができることは何か?～ WYSH 教育の事例より～」
04.08	第181回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	07.13	第2回 大分がん・生殖医療研究会公開講座 第21回 セント・ルカセミナー(ホルトホール) 講師:成田円先生(虎の門病院 血液内科移植コーディネーター) 「がん・生殖医療における長期サポート体制の構築 ～虎の門病院における同種移植後の妊娠性温存への長期サポート体制～」
04.11	第39回 大分市医師会産婦人科～内分沁・不妊・代謝～懇話会(大分) 参加(山路、安部、藤沢、大城、青木、足立小、下川、小池、佐藤、後藤香、熊迫、長木、戸高、手島、北田、川村、岡田、亀井、松元、二宮、赤嶺、関、篠田、後藤裕、稗田、河邊、院長)		座長:上尾裕昭先生(うえお乳腺外科 院長)
04.12	第202回 体外受精教室 参加者49名		講師:岡田弘先生(獨協医科大学越谷病院泌尿器科 主任教授) 「泌尿器科医の立場から見た男子生殖能温存の最新情報」
	参加(藤沢、足立小、大津、下馬場、岡田、松土、関、稗田)		座長:吉村崇典先生(日本産科婦人科学会前理事長、第2次安倍内閣 内閣官房参与)
04.12	第5回 第9期オリープの会 参加者5名		講師:大野真司先生(国立病院機構 九州がんセンター-臨床研究センター 乳腺科部長) 「妊娠性から考える乳がん治療」
04.13	職員旅行(沖縄班) 参加(山路、安部、大城、青木、足立小、越名、下川、佐藤、後藤香、熊迫、長木、大津、戸高、手島、岡田、亀井、足立直、松元、関、越光、河邊、事務長、院長)		座長:上尾裕昭先生(うえお乳腺外科 院長)
04.13	職員旅行(鹿児島1班) 参加(工藤、矢野、藤沢、北田、川村、斉高、赤嶺、稗田)		講師:鈴木直先生(聖マリアンナ医科大学産科婦人科 教授、日本がん・生殖医療研究会 代表) 「がんと生殖に関わる諸問題に関してーがん・生殖医療の実践を目指して」
04.18	第66回 日本産科婦人科学会(東京) 参加(院長)		座長:吉村崇典先生(日本産科婦人科学会前理事長、第2次安倍内閣 内閣官房参与)
04.18	JEMs(本邦における子宮内胎症の癌化の頻度と予防に関する疫学研究)担当者会議(東京) 参加(院長)		総括:吉村崇典先生(日本産科婦人科学会前理事長、第2次安倍内閣 内閣官房参与)
04.19	第56回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名	07.15	第184回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
04.20	IFFS/JSRM International Meeting 2015[第4回組織委員会](東京) 参加(院長)	07.15	第11回 大分県母性衛生学会実行委員会(大分) 参加(後藤裕)
04.21	平成26年度大分大学医学科6年次産婦人科実習:高崎美先生(5月23日まで)	07.16	DISわぁどin おおいた別府 IT ビジネスセミナー(別府) 参加(安部)
04.26	第10回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(関、越光、河邊、院長)	07.17	DISわぁどin おおいた別府 IT ビジネスセミナー(別府) 参加(山路)
	発表:「3Dカメラ、モニターを導入したLaparoscopic myomectomy(LM)」(院長)	07.17	大分県不妊治療費助成事業検討部会(大分) 参加(足立小、越名、院長)
04.27	第71回 九州・沖縄生殖医学会(福岡) 参加(下川、後藤香、大津、二宮、関、篠田、越光、稗田、河邊、院長)	07.19	第80回 新患教室 参加者73名
	発表:「初期胚品質評価のためのタイムラプス(Primo Vision)観察と胚呼吸量測定について」(後藤香里) 「初期胚における多核の原因分析」(大津英子) 「体外受精治療中の患者を対象とした性生活と日常生活についての意識調査」(二宮睦)	07.19	第4回 ウェイトサークル 参加者2名
	「当院治療中患者の特定不妊治療助成金制度に対する意識調査」(関こすえ) 「治療を諦めた患者の聞き取り調査」(篠田多加子) 「子宮内胎症卵巣嚢腫エタノール固定術後の卵巣予備能の変化と腹腔内癒着の有無」(河邊史子)	07.21	「生殖医療に関する遺伝カウンセリング相談受け可能な臨床遺伝専門医」講習会(東京) 参加(院長)
		07.25	厚生労働科学研究班 平成26年度 第1回 研究班会議(東京) 参加(工藤、院長)
		07.25	日本産科婦人科学会 第3回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長)
		07.26	第205回 体外受精教室 参加者51名
			参加(足立小、熊迫、下原、下馬場、松土、二宮、岡田、関、稗田)
		07.26	第57回 ガーネットサークル OG 1名、参加者8名
		07.30	日本受精着床学会 平成26年度 第2回 常務理事会(東京) 参加(院長)



07.31	第32回 日本受精着床学会総会・学術講演会(東京) 参加(佐藤、後藤香、熊迫、大津、二宮、関、篠田、後藤裕、神田、院長) 世界体外受精学会記念賞(臨床) 座長:院長 一般口演「タイムラプス①」 座長:熊迫陽子 一般口演「カウンセリング・看護②」 座長:後藤裕子 発表:「精子のメチル化異常と流産組織のメチル化異常の関係」(佐藤晶子) 「タイムラプス(Primo Vision)観察と胚呼吸量測定を用いた初期胚品質評価の可能性」(後藤香里) (世界体外受精学会記念賞受賞) 「分割期胚における多核胚発生原因の分析」(大津英子) 「体外受精治療中の患者を対象とした性生活と日常生活についての意識調査」(二宮睦) 「当院治療中患者の特定不妊治療助成金制度に対する意識調査」(関こずえ) 「治療を諦めた患者への聞き取り調査」(篠田多加子)	11.01	第209回 体外受精教室 参加者39名 参加(足立小、熊迫、松土、二宮、岡田、関、神田)
07.31	日本受精着床学会理事会(東京) 参加(院長)	11.04	第210回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、 後藤裕子(セント・ルカ産婦人科 看護部長)、 近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、 野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順) オブザーバー: 神田真由美(セント・ルカ産婦人科 臨床心理士)、 河邊史子(セント・ルカ産婦人科 医師)
08.01	第48回 JISART 拡大理事会(東京) 参加(院長)	11.07	第17回 胎児遺伝子診断研究会(長崎) 参加(城戸、院長)
08.01	日本受精着床学会評議員会(東京) 参加(院長)	11.08	第40回 大分市医師会産婦人科・内分泌・不妊・代謝・懇話会(大分) 参加(山路、安部、油野、藤沢、大城、青木、足立小、越名、下川、小池、佐藤、 後藤香、熊迫、戸高、坂本、手島、川村、松元、二宮、齊高、赤嶺、関、越光、 後藤裕、神田、河邊、院長) 「産婦人科医が認識すべき乳がんホルモン治療の問題点」 (金沢大学医療保健研究域医学系 分子移植学(産科婦人科学) 教授 藤原浩先生)
08.02	13th Kyusyu Breast Cancer Workshop(福岡) 参加(院長) Panel Discussion:「未婚女性患者における卵子凍結の現状」(院長)	11.10	第5回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長)
08.02	第8回 第9期フォーラムの会 参加者3名	11.11	第188回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
08.05	第185回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	11.11	おおいた乳がん生腫瘍治療ネットワーク第2回日会合
08.13	徳島大学さきご連にて阿波踊り(徳島) 参加(小池、大津、坂本、越光、事務長、院長)	11.15	第83回 新患教室 参加者51名 参加(油野、越名、長木、戸高、坂本、越光、神田)
08.16	第206回 体外受精教室 参加者36名 参加(油野、藤沢、足立小、佐藤、下原、下馬場、松土、二宮、岡田、関、神田)	11.15	第8回 ウェイトサークル 参加者2名
08.16	産婦人科診療ガイドライン2014講習会 婦人科外来編(大分) 参加(院長) 「4. ホルモン・不妊症関連」 講師:院長	11.17	釘宮大分市長を囲んでの竜馬会(大分) 参加(院長)
08.18	PGSに関する小委員会ワーキンググループ(東京) 参加(院長)	11.20	第59回 日本人類遺伝学会/第21回日本遺伝子診療学会合同大会(東京) 参加(下川、城戸、院長)
08.23	第58回 「赤ちゃん〜今ならさっと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者84名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護部長)、神田(臨床心理士)、院長、 おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加(工藤、藤沢、小池、下馬場、戸高、川村、足立直)	11.20	第45回 大分市医師会医学会(大分) 参加(大城、足立小、越名、熊迫、長木、大津、戸高、坂本、北田、川村、亀井、 松元、二宮、齊高、赤嶺、関、越光、後藤裕、河邊)
08.24	第21回 臨床細胞遺伝学セミナー(東京) 参加(佐藤、城戸)	11.22	第114回 九州医師会医学会(大分) 参加(河邊、院長)
08.24	医学専門家会議 F999049の第II相臨床試験プロトコル検討会(東京) 参加(院長)	11.25	第223回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊、院長)
08.25	SRL 研修 参加(城戸)	11.29	第49回 JISART 理事会(神戸) 参加(院長)
08.29	第221回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊)	11.30	「がん・生腫瘍治療導入に向けた精神的サポート体制構築を検討する」シンポジウム(東京) 参加(小池、熊迫、篠田、越光、院長)
08.30	第5回 ウェイトサークル 参加者4名	11.30	第5回 JISART 事務教育委員会(大阪) 参加(越名)
09.03	株式会社バズラボフリーマガジン「ジネコ」冬号(Vol.24)取材	12.04	第59回 日本生殖医学会総会・学術講演会(東京) 参加(下川、佐藤、後藤香、大津、二宮、関、篠田、後藤裕、河邊、院長) 発表:「生殖補助医療(ART)後得られた流産組織のメチル化異常 および精子のメチル化異常の関係」(佐藤晶子) 「初期胚での品質評価のためのタイムラプス(Primo Vision)指標と 胚呼吸量測定の可能性」(後藤香里) 「分割期胚における多核胚発生原因の分析」(大津英子) 「体外受精治療中の患者を対象とした性生活と日常生活についての意識調査」 (二宮睦) 「当院治療中患者の特定不妊治療助成金制度に対する意識調査」(関こずえ) 「治療を諦めた患者の聞き取り調査」(篠田多加子) 「子宮内膜症卵巣嚢腫エタノール固定術後の卵巣予備能の変化と 腹腔内癒着の有無」(河邊史子)
09.03	第14回 別府遺伝学セミナー(別府) 参加(下川、佐藤)	12.06	第59回 「赤ちゃん〜今ならさっと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者51名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護部長)、神田(臨床心理士)、院長、 おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加(安部、藤沢、小池、戸高、川村、足立直)
09.06	第207回 体外受精教室 参加者55名 参加(藤沢、越名、佐藤、二宮、岡田、関)	12.08	新職員 麻生英里(看護部)
09.07	第3回「熊本生腫瘍治療フロンティア」(熊本) 参加(城戸、大津)	12.09	第189回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
09.08	日本産科婦人科学会 第4回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長)	12.12	日本遺伝子診療学会: 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム公開シンポジウム2014 「個別化医療を進めるために」(東京) 参加(院長)
09.09	第186回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	12.12	第29回 日本生殖免疫学会総会・学術集会(東京) 参加(後藤香)
09.09	おおいた乳がん生腫瘍治療ネットワーク第1回日会合	12.13	第9回 ウェイトサークル
09.11	第54回 日本産科婦人科内視鏡学会(鹿児島) 参加(岡田、越光、院長) 一般口演「腹腔鏡一般⑬」 座長:院長 発表:「3Dカメラ、モニターを導入したLaparoscopic myomectomy(LM)」(院長)	12.13	忘年会
09.11	日本産科婦人科内視鏡学会 第20回 学術研修会(鹿児島) 参加(院長)	12.20	第210回 体外受精教室
09.13	第9回 技術認定審査常任委員会(鹿児島) 参加(院長)	12.23	日本生殖医学会2014年度第3回生腫瘍治療者講習会(東京) 参加(河邊)
09.13	第21回 出生前診断研究会幹事会(宮崎) 参加(院長)	12.24	クリスマス会
09.13	第21回 遺伝性疾患に関する出生前診断研究会(宮崎) 参加(佐藤、城戸、岡田、越光、院長)		
09.13	第17回 日本 IVF 学会学術集会(大阪) 参加(下川、小池)		
09.14	第12回 日本生腫瘍学会学術集会(大阪) 参加(小池、手島)		
09.17	大分合同新聞記者 取材の為に来院		
09.20	第81回 新患教室 参加者81名 参加(藤沢、足立小、城戸、戸高、坂本、川村、篠田)		
09.20	第6回 ウェイトサークル 参加者3名		
09.26	大分産婦人科 JOY 会(大分) 参加(河邊)		
09.27	第10回 ご夫婦二人だけの人生を選ばれた元患者さんを中心会 参加者11名		
10.04	第208回 体外受精教室 参加者62名 参加(藤沢、足立小、後藤香、二宮、岡田、関、神田)		
10.05	日本卵子学会 第6回 生殖補助医療胚培養セミナー(東京) 参加(下川、小池)		
10.05	平成26年度 第1回 大分県医師会 JMAT 研修会(大分) 参加(河邊)		
10.06	大分放送(OBS)より取材の為に来院		
10.07	第187回聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院		
10.11	日本卵子学会 平成26年度 第3回 理事会(東京) 参加(院長)		
10.15	PGSに関する小委員会ワーキンググループ(東京) 参加(院長)		
10.17	第5回 大分産科婦人科内視鏡研究会(大分) 参加(河邊)		
10.18	2014 Annual Meeting of the American Society for Reproductive Medicine (Hawaii) 参加(佐藤、後藤裕、事務長、院長) 発表:「Relation Of Sperm Methylation Abnormality To Miscarriage Villus Methylation Abnormality」(佐藤晶子)		
10.18	第7回 ウェイトサークル 参加者3名		
10.19	第11回 大分県母性衛生学会(大分) 参加(戸高、坂本、手島、北田、亀井、足立直、二宮、 齊高、赤嶺、岡田、関、篠田、越光、神田、河邊) 発表:「当院治療中患者の特定不妊治療助成金制度に対する意識調査」(関こずえ)		
10.19	第32回 おぎや〜献金推進月間記念講演会(大分) 参加(河邊)		
10.21	第222回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊)		
10.25	第82回 新患教室 参加者62名 参加(越名、大津、戸高、川村、齊高、神田)		
10.25	第5回 ガーネットサークル OG 1名、参加者5名		
10.28	第115回 大分県産産期研究会(大分) 参加(山路、安部、油野、藤沢、青木、越名、下川、小池、城戸、後藤香、熊迫、 戸高、坂本、手島、北田、川村、亀井、足立直、松元、二宮、齊高、赤嶺、関、篠田、 越光、後藤裕、神田、院長) 発表:「抗がん剤(シクロフォスファミド:CPA)投与によるマウス妊産能への影響」 (小池恵) 「がん治療前の卵子凍結に向けた大分での取り組み」(熊迫陽子) 「当院治療中患者の特定不妊治療助成金制度に対する意識調査」(関こずえ)		
			著書 (院長) 「[生殖医療と倫理・法] 配偶子提供と出自を知る権利」『臨床婦人科産科』 第68巻第1号(医学書院) 「生殖医療と社会 一生まれてくる子どものために」『セミナー 医療と社会』第41号 [Reproductive Medicine and Medical Tourism] [Current Issues and Emerging Trends in Medical Tourism] (IGI Global Press) (印刷中) 「V.ART の実際 10. 胚のグレーディングと移植胚の選択」『産婦人科の実際』 第63巻2014年臨時増刊号(金原出版株式会社) (印刷中) (院長/下川樹樹乃) 「C. 治療(4)不妊治療と妊娠 5.インプリンティング異常」『不妊・不育 診療指針(仮称)』 (株式会社中外医学社) (印刷中) (院長/長木美幸) 「腹腔鏡下手術が卵巣予備能に与える影響」『産婦人科の実際』第63巻第7号 (金原出版株式会社)
			総説 (熊迫陽子) 「安全を重視したクロード法での胚凍結」 J. Mamm. Ova Res. 31 (4) : 115-122, 2014

**妊娠報告件数**  
(2013.11.1~2014.10.31)  
体外受精、顕微授精等  
**267件**  
\*  
その他(体外受精以外)  
**148件**  
計 **415件**



**編集後記**  
今年のルカ新聞は1回のみ発行ということで盛りだくさんの内容が載っています。  
1年の終わりにいろいろな行事を振り返ることができました。写真は、11月にハワイの学会に参加させていただいたときの院長先生の笑顔です。  
来年も、さらに前へ進んでいける1年になるよう、職員全員で力を合わせてがんばっていききたいと思います。